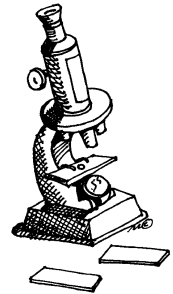



東京医師アカデミー

東京都保健医療公社 豊島病院

内科専門研修プログラム（感染症分野）



<p>診療責任者</p>	<p>足立拓也（感染症内科医長） 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本感染症学会認定感染症専門医・指導医・評議員</p>			
<p>目標とする 専門医資格</p>	<p>基本領域学会の専門医（内科専門医など） 日本感染症学会認定感染症専門医 海外の専門資格（DTMH など）</p>			
<p>研修のねらい</p>	<p>感染症を切り口に、生まれてから老いてゆく人間の一生を通じた病態を理解して、すべての国籍・年代・職業・生活背景、あらゆる事情を持った患者への対応ができるようになることを目指す。</p>			
<p>研修目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的な市中感染症を診断し、治療できる 2. 一般医療機関では対応困難な感染症の診療依頼に対応し、診断し、治療できる <ol style="list-style-type: none"> ① 感染症法に規定される疾患 ② 検疫法に規定される疾患 ③ ヒト免疫不全ウイルス感染症・後天性免疫不全症候群、およびその合併症 3. 院内他科の感染症診療を支援できる 4. 院内感染対策の基本的手法を実行できる 5. 予防接種について、個別の相談に応じて計画を立て、実施できる 6. 自分が関与した意思決定について、説明責任を果たすことができる 			
<p>研修コースモデル（例） ※豊島病院内科専門 研修プログラム参照</p>	<p>1 年次</p>	<p>基本領域学会（内科など）の専門研修</p>		
	<p>2 年次</p>	<p>基本領域学会の専門研修</p>		
	<p>3 年次</p>	<p>感染症内科（病棟・他科併診・ 外来・感染対策）</p>	<p>選択</p>	<p>選択</p>
	<p>4 年次</p>	<p>感染症内科（病棟・他科併診・ 外来・感染対策）</p>	<p>選択</p>	<p>選択</p>
	<p>※1～3 年次は基本領域学会の専門研修プログラムと調整する。選択期間は、院内他科、駒込・墨東・荏原病院の感染症科など。将来のキャリア形成を見据えて、本人の意向を尊重して決定する。</p>			
<p>施設の認定状況</p>	<p>日本感染症学会専門医制度認定研修施設 第二種感染症指定医療機関／エイズ診療拠点病院</p>			

<p style="text-align: center;">感染症内科 入院症例の主な内訳 (2020 年度 644 例)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主要疾患</th> <th>病原体／特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症※ 605</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肺炎 5</td> <td>肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3</td> </tr> <tr> <td>化膿性脊椎炎 3</td> <td>黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1</td> </tr> <tr> <td>蜂窩織炎 2</td> <td>不明 2</td> </tr> <tr> <td>結核 2</td> <td>肺結核 1 結核性筋膿瘍 1</td> </tr> <tr> <td>つつが虫病 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>腎盂腎炎 1</td> <td>Aerococcus + Streptococcus 1</td> </tr> <tr> <td>腸腰筋膿瘍 1</td> <td>Bacteroides + Fusobacterium 1</td> </tr> <tr> <td>HIV 感染症 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本海裂頭条虫症 1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※感染症内科が主治医になった症例のみ。他科主治医の症例は含まない。</p>		主要疾患	病原体／特記事項	新型コロナウイルス感染症※ 605		肺炎 5	肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3	化膿性脊椎炎 3	黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1	蜂窩織炎 2	不明 2	結核 2	肺結核 1 結核性筋膿瘍 1	つつが虫病 2		腎盂腎炎 1	Aerococcus + Streptococcus 1	腸腰筋膿瘍 1	Bacteroides + Fusobacterium 1	HIV 感染症 1		日本海裂頭条虫症 1	
	主要疾患	病原体／特記事項																						
	新型コロナウイルス感染症※ 605																							
	肺炎 5	肺炎桿菌 1 エンテロバクター 1 不明 3																						
	化膿性脊椎炎 3	黄色ブドウ球菌（感受性株） 1 G群連鎖球菌 1 大腸菌（ESBL 産生株） 1																						
	蜂窩織炎 2	不明 2																						
	結核 2	肺結核 1 結核性筋膿瘍 1																						
	つつが虫病 2																							
	腎盂腎炎 1	Aerococcus + Streptococcus 1																						
	腸腰筋膿瘍 1	Bacteroides + Fusobacterium 1																						
	HIV 感染症 1																							
	日本海裂頭条虫症 1																							
<p style="text-align: center;">待遇・勤務条件</p>	<p style="text-align: center;">豊島病院シニアレジデント募集のページをご参照ください。 (http://www.toshima-hp.jp/recruit/resident/academy/index.html)</p>																							
<p style="text-align: center;">選考日程</p>	<p style="text-align: center;">見学随時 / 応募締切 / 選考 上記ウェブサイトをご参照ください。</p>																							
<p style="text-align: center;">問い合わせ</p>	<p style="text-align: center;">庶務課専攻医担当 または 感染症内科 足立拓也 takuya_adachi (アットマーク) tokyo-hmt.jp</p>																							
<p style="text-align: center;">コース責任者より ひとこと</p>	<p>2020 年度は新型コロナウイルス感染症の大規模流行を受けて、患者受け入れを最優先に対応しました。例年の幅広い感染症診療とは大きく異なる 1 年になりましたが、未知の感染症に対して、患者の診察を通して病態の把握に努め、試行錯誤を繰り返しながら治療法を確立していった経験は、貴重な教育機会であったと思います。</p> <p>2021 年度も、次の時代の感染症診療を担っていただける人材を募集します。</p> <p>最初は個別症例を丁寧に診療することから始め、研修年次が進むごとに、病棟、他科併診、外来、院内感染対策と、段階的に活動範囲を拡大していきます。選択期間の研修先は、将来のキャリア形成を見据えて、本人の意向を尊重して決定します。コース修了時には、どの医療機関でも感染症診療の先頭に立てるような即戦力を備えることを目指します。</p> <p>より大きな視野で見たとき、当院の研修ですべての病原体をカバーできるわけではなく、感染症診療自体が国内で完結するものでもありません。意欲のある人は、海外にも目を向け、国内外の専門家と人脈をつくり、英語で（他の言語でもよい）仕事ができるスキルを習得することを奨励します。</p> <p>優れたロールモデルに出会い、スケールは大きく、かつ細やかな配慮のできる職業人に育っていただけるよう、願っています。応募をお待ちしています。</p>																							
 <p style="text-align: center;">医長 足立拓也</p>																								